

日時 令和3年11月29日(月)13:30~16:00

場所 岡山県立勝間田高等学校 記念館3階会議室

(委員15名のうち12名が出席、岡山県教育庁高校教育課高校魅力化推進室 同席)

## 1 開会行事

- (1)校長挨拶
- (2)会長挨拶
- (3)事務局より

## 2 授業参観・施設見学

## 3 報告

### (1)学校経営・組織編成に関する事項

- 令和3年度 学校経営計画書について
- 令和3年度 三つの方針(スクール・ポリシー)について
- 令和3年度 学校評価書について

### (2)予算執行に関する事項

- 令和3年度の主な事業と予算について

### (3)その他関連する事項

- 令和3年度 主な事業・取組等について

#### 1. 行事等

##### (1)勝央町関係

- ・勝央町役場前植栽やノースヴィレッジ花時計植栽など
- ・JR勝間田駅新駅舎へのベンチ設置やプランターの飾り付け
- ・勝央町フードドライブへの協力

##### (2)小・中学校との連携関係

- ・小学校...草花寄せ植え交流  
イモ学習交流(サツマイモ掘り)  
森林交流学习
- ・中学校...進路説明会への参加

##### (3)校内行事等

- ・清風祭...体育の部・文化の部とも非公開、縮小開催
- ・修学旅行...中止→12月15日(水)鷺羽山ハイランドへ日帰り旅行を予定
- ・オープンスクール...10月30日(土)実施(中学生88人、保護者51人が参加)
- ・農産物販売...ドライブスルー方式や人数制限等を行いながら実施

##### (4)その他

- ・創立120周年記念式典...10月22日(金)実施(本校体育館)  
来賓・表彰者等32人が出席、生徒はHR教室でリモート参加
- ・アグリ魅力化プロジェクト...昨年度から継続して行っているが、コロナ禍で思うように活動できていない
- ・令和3年度進路指導状況
- ・インターンシップ...コースごとの特色を生かしたインターンシップの実施

## 2. 情報発信

地域協働活動コーディネーターによるSNS「カツマダわっしょい」の運用

...令和3年6月より開始(InstagramとFacebook)

投稿数:128件(平日1投稿を目標)

フォロワー数:Instagram 224人、Facebook 116人 ※11/28時点

〈さまざまな効果〉

校外)・話題にあげてもらうことが多くなった。

生徒)・Instagramのフォロワーの半数以上は生徒。

- ・記事に載りたい生徒が増えた。
- ・他コースの取組を知ることができた。
- ・取材が入り掲載されることで適度な緊張感が生まれた。
- ・自分が載るかもしれないローカルメディアの楽しみが生まれた。

教員)・写真や動画の視覚的効果から理解が深まった。

- ・情報発信のノウハウやコロナ禍における発信の可能性を提示できた。

↓  
自慢できるSNS→ファンづくり→「今」を伝え、選ばれる勝間田高校へ  
(今後の検討項目)

- ・Twitterでの展開(さらなる周知・拡散)
- ・円滑な記事提供のための担当教員との仕組み作り(持続可能な運用体制構築)
- ・生徒主体の発信体制づくり(よりリアルに、より届くコンテンツ)

【議長】(質問等が特にないということで)

予算執行に関する事項の「スマート農業による未来の農業を支える後継者の育成」事業(全国共済農協協同組合連合会の資金提供:高校教育課)は大きな予算で設備を導入する内容だが、これは今年度限りなのか。来年度以降、希望したら予算が付くのか。可能性はあるのか。

【高校】

国の事業で昨年度県の補正予算が付いてスタートしたものだが、今後は未定である。

【高校魅力化推進室】

今年度執行で動いている。今年度は希望する高校へ予算が付いた。来年度は未定である。

【議長】

学校の魅力化を高めていくためにも、先端的なものが入れば 希望も膨らむ。魅力化も進む。今後も期待している。県の方の予算でもぜひお願いしたい。

【委員A】

SNSを利用して、選ばれる学校へ。それに生徒が参画することは非常によいことだ。企業でもSNSで発信していこうとしている。これからの時代、生徒が自らの希望で参画し、発信して欲しい。

【委員B】

部活動や総合的な探究の時間などでも今後はしていきたい。アグリ魅力化プロジェクトでアグリPVを作りながらSNSを学び、自主的に発信するグループ作りをしていきたい。

【委員C】

学力向上のための取組として、「家庭学習の推進」とあるが、どういったことまでを家庭でしてほしいと考えているのか。専門的な分野までもして欲しいと考えているのか。

【高校】

基礎学力の向上を目的として、国数英を中心に家庭学習を推進している。ただ、家庭学習を習慣化させるためにも、普通教科だけでなく専門教科にも座学中心の科目もあるので、家庭学習は必要だと考えている。長期休業中や5月の連休などには教務課より呼びかけて家庭学習課題をお願いしている。

【委員C】

同じような悩みを抱えている学校は多い。他校でも取り組んできたが、探究学習を入れるとよい。SNSでの発信など外の人間が絡むことで、インプットしたものをアウトプットしようとすることで学習効果は上がる。楽しくなる。家庭学習をしなかった生徒が、事前準備や下調べを家庭学習としてしようとする。探究学習を取り入れ、それを子どもたちから発信することで「思考力・判断力・表現力」の効果が上がる。

【議長】

子どもたちが積極的に関わることで、そこに新しい発見があったり、気づかなかった能力が開いたりすることも考えられる。参考にさせていただければ。

#### 4 協議

協議題「勝間田高校の地域での評価(仮題)」

#### 5 情報交換等(4・5合わせて)

【議長】

勝間田高校はいろいろな取組をしているが、勝間田高校に対してどのような力添えができるかも含めて、情報交換等をお願いしたい。

【委員D】

スクールミーティングなどを見ても、生徒が主体的に改善していこう、良くしていこうとしている。自己改革が見られることはうれしいことだ。SNSで客観的に生徒が見て、自己肯定感も上がり、生徒が自信を持ってきているのでは。そうすることで、勝間田高校にきたい生徒も増えるのでは。

【委員E】

勝間田高校の希望者は昨年と比べて増えている。学校の魅力は上がってきている。イメージによるところが大きい。様々な取組、SNSでの取組から少しずつ浸透して行って、良い方向に行っている。それが数字に表れてきているのではないか。

【委員F】

コロナ禍でできない中でも、できることをしている。生徒が前面に出ていることはいいことだ。魅力を発信

できている。様々な活動を知ることができた。将来的に農業普及につながればいいと思う。期待している。

【委員B】

「子どもは宝」を実感している。意味のある仕事だと思っている。ただ大分無理をしている。楽しいが、無理せず働ける環境になればと思う。

【委員G】

勝間田高校のイメージ魅力化は上がっている。私自身そう感じているので、他の人にも伝えられる。町の人や企業の方にも勝間田高校生に就職してほしいと思ってもらえるよう、(勝間田高校に対してのマイナスの)印象を払拭していきたい。勝間田高校は変わってきているということを丁寧に伝えることが私の役目だと思っている。

【委員H】

自主性を大事にしていかないといけないが生徒たちはいずれ就職していくので、社会が今どういう人間を求めているかを、押しつけではない形で学校でも話してほしい。どう考えてどう自分を磨けばよいか、規則や法律の中で生きていくことの大切さなどを、学校生活の中で学んでほしい。

【委員I】

SNSをフォローしている。ネタが多い。たくさんのことをしている。勝間田高校の今がわかる。魅力化プロジェクトにできることがあれば、いつでも協力したい。

【委員J】

SNSへ生徒が参加していく。便利なものを有効活用し、よい形で参加できればよい。

【高校魅力化推進室】

「高校魅力化推進事業」として、令和3年から3年間、県内県立高校の1学年3学級規模の高校を指定して地域との連携の在り方について研究していく事業で、勝間田高校にお願いしている。魅力化とはすごく難しい内容だが、学校内の魅力化と学校外への情報発信だと考えている。学校内の魅力化は「探究学習」がポイントで、今後次世代を担う生徒たちに答えのない世の中を生きていくためのスキルを、地域の専門の方々とのやりとりで身につけてもらうという地域連携の仕組みを作っていたきたい、そしてそれを校外のいろいろな人に知ってもらうためにSNS等を利用して情報発信すること、この2本柱だと考えている。このように皆さんに勝間田高校の魅力を知っていただけており、今後とも勝間田高校の魅力をいろいろなところで発信していただけると、県としてもありがたい。今後ともよろしくお願いします。

【議長】

私としても勝間田高校をなくしてはいけない、その1点である。そのために何をしていけばよいか、皆さんと一緒に考えていきたい。地域創生と言うが、過疎地域は人がいなくなるから農地が荒れる、農地が荒れるとだんだん住みにくくなるという悪循環になる。そうならないよう私も頑張るので、みなさんもそれぞれの立場で今後とも協力をお願いしたい。

6 閉会行事

事務局より

第3回学校運営協議会について 2月下旬で調整